



# 美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校  
すすんで学び行動しよう  
がんばらあっぱしない

第 10 号  
令和 4 年 9 月 1 日発行  
美杉中学校長  
坂本 直哉

## 「飛躍」の2学期を目指して！！

新型コロナウイルス感染症の脅威は依然として社会を混乱させています。コロナ禍の影響を受けた2学期のスタートも3回目となります。今までと同様に『with コロナ』の生活様式を徹底し、自分のため、みんなのため、途切れることのない日々のために、意識・力を結集し、ともにこの困難を乗り越えましょう。3年生にとっては、進路に向けて重要な時期を迎えます。1・2年生にとっては、さらなる飛躍のための土台作りの時期でもあります。

一人ひとりのスタイルで、意味のある時間を積み重ねてください。『失敗』を恐れず、ひとつでも多くの『経験』・『チャレンジ』を重ねてください。そのひとつひとつが必ず自分の成長につながっていきます。みなさんには、無限の『伸びしろ』があります。何もしなかったら、変化は起こりません。『静せい』ではなく『動どう』の時間を重ねてくれることを期待しています。

なお、3年生には転入生1名が加わり17名のスタートとなります。



## 8/28 津市中学生人権フォーラム

夏休み最後の週末、8月28日（日）。『津市中学生人権フォーラム』が三重県人権センターで開催されました。津市反差別青少年友の会【津友】のみなさんによる企画・運営で行われています。市内中学校から70名を超える生徒の参加があり、本校からは3年生の石山さん・中森さん・堀井さん・松永さん・向田さんの5名が参加しました。



はじめに、津友からメッセージの形で提案がなされました。自分の家庭環境や住んでいるところ（部落差別）から自分を閉じ込めていった経験を重ねたこと。そして、先生や障がいのある人との出会いの中で、差別される自分と差別する自分がいることに気づいたこと。そんな絡まり合う思いを考えると、一緒に考えてくれる仲間がいたこと。そして、差別を許さない自分の生き方を見つめていくことができたこと。



この提案を受けたあと、8人ほどのグループに分かれ、市内中学校の仲間との意見交流を持ちました。もし、自分のクラスでいじめや差別があったとき、自分の立ち位置はどうか。一人ひとりが自分の思いを話せるところになっているのかなど、今を見つめ直す機会になったことと思います。同世代の人たちそれぞれの差別を許さない決意にふれ、参加した5人にとって、刺激や気づきを受け取れた貴重な時間になったと思います。

### 【表彰・記録等】

◆津地区よい歯のコンクール 学校代表賞 3年 原林 もも

### 【陸上競技部】

◆第54回鈴鹿市陸上競技選手権(7/30・31)

【中学女子走高跳】第4位 1m30 石山薫子

【中学男子1年走高跳】第1位 1m43 向田 隼

◆第17回津市中学校総合体育大会陸上競技大会(8/22・23)

【女子走高跳】第3位 1m30 石山薫子 → **県大会出場**

【男子三段跳】第5位 9m94 真伏闘志

【男子走高跳】第4位 1m45 向田 隼

